

# 空いている屋上でソーラー発電

## 地球に優しい有効利用

最近、工事の問い合わせ・見積依頼や受注が増えてきている「ソーラー発電」。このソーラー発電パネルには、「単結晶」タイプと「多結晶」タイプがあります。今回の現場では現在主流



設置前の屋上。余り使ってなかったとの事



鉄筋アンカーを打ってからウレタン防水をかけます。

の「多結晶」タイプを選択し、工事を行ないました。

「多結晶」パネルは、設置角度も発電効率の大切な要因となります。設置場所は、屋上でした。屋上設置の場合、心配なのが架台基礎の防水

処理をしっかりとしないといけ

ない事です。今回、コンクリート架台と防水対策を直接当社で行いました。基礎を作って架台を設置し、ベストな角度でパネル設置が出来ました。

工事を終わってから、空



パネルで良く見えませんが、基礎部分は2重の防水処理済です。

いている空間をE c o

に活用する事は、地球に優しい利用方法だと思いました。

発行：意外と思う事でも私たちは出来ます。(有) 渡辺賢工務店